

KIBOKO

木這子 Bulletin of the Tohoku University Library Vol.38, No.4

本館 2号館 臨時閲覧室での学生の様子



グループボックス (1階)



グループ学習コーナー (1階奥)



壁添いの席は広さが人気 (2階)



学生用図書横の閲覧席 (2階)



ラウンジで就活について談話する学生 (1階)



Contents

TOPICS

- 新副館長をご紹介します！
～ 農学研究科 西尾剛 教授

2

LEARNING

- 電子ブックのすすめ (1)
「理科年表プレミアム」の魅力
- レポート作成のヒント
授業「『レポート力』アップのための情報探索入門」・
グループディスカッションの結果から

3

4

TOPICS

- in London
ロンドン大学図書館展示会 Natsume Sōseki, the
Greatest Novelist in Modern Japan (「近代日本の
文豪・夏目漱石」) 展の開催について
- in Russia
日露大学合同説明会・日露学長会議

6

SERIES

- 「ゆかりの人々」
医学系研究科 大隅典子 教授
- <つながり>の一冊
「知がめぐり、人がつながる場のデザイン」

7

REPORT

- SSH (SUPER SCIENCE HIGH SCHOOL)
鶴岡南高校にて出張講習会！
- ビブリオバトル首都決戦 2013
～ 宮城・福島地区予選会 in 東北大学

8

Editor's notes

新副館長をご紹介します！

10月1日付けで、当館の新副館長に就任された、西尾剛教授をご紹介します。就任以来、附属図書館の種々の事業にご尽力いただき、お忙しい日々を過ごされている西尾教授に附属図書館の印象やご自身の「青春の一冊」について、うかがいました。

プロフィール



西尾 剛 教授 (NISHIO, Takeshi)

所属：大学院農学研究科 応用生命科学専攻 植物遺伝育種学

著書：「植物育種学」第3版、第4版 文英堂出版

「植物育種学各論」文英堂出版

「見て分かる農学シリーズ、遺伝学の基礎」朝倉書店



植物育種学 / 西尾剛, 吉村淳編; 西尾剛 [ほか] 著
第4版 文英堂出版, 2012年刊
(本館学関ゆかり RB57/018)

Q1 附属図書館の印象はいかがですか？

学生用の図書が充実し、学生の勉学や教養を高めるための場としていい環境にあり、ラーニングコモンズが整備されるので、学生が講義の空き時間に過ごすのに最適だと思います。教員や大学院生にとっては、電子ジャーナルが充実し、必要な文献の大部分をネット上で簡単に検索して見る事が出来るので、研究を進める上で大変いいと思います。

Q2 先生ご自身、附属図書館をどのようにお使いになっていますか？

実は川内の附属図書館本館で資料調べをしたり、本を借りたことは一度もありません。農学分館では文献調査をよく行いましたが、ここ10年ほどは、もっぱら電子ジャーナルの文献を入手していますので、農学分館にもあまり行かなくなりました。

Q3 先生の青春の一冊を教えてください。

■ 沈黙の春 / レイチェル・カーソン著

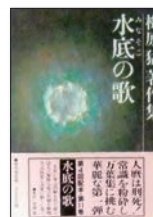
農薬のDDT等による環境汚染の問題を取り上げた有名な本で、大学2年生のときに図書館で読みました。情緒的な表現が多く、専門家から見ると不適切な部分もあるかも知れませんが、一般の人に訴えるにはこれくらいのインパクトが必要なのでしょう。



沈黙の春 /
レイチェル・カーソン著 ;
青樹繁一訳, 新潮社
1987年刊
本館学関 NA217/0108

■ 水底の歌 / 梅原猛 著

柿本人麻呂の終焉の地と、その人物像についての大胆な仮説を提唱している本で、大学院生のときに買って読みました。これまでの定説に対する批判が強烈で主張も大胆なので、この本も専門家から見ると問題が多いのだらうとは思いますが、論理の構築が面白く、理系の論文とは大分異なり、上下二巻と長いですが、一気に読みました。



水底の歌 /
梅原猛著 (梅原猛著作集11),
集英社 1982年刊
本館学関 US21/085

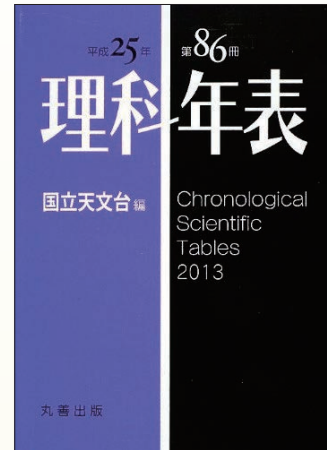


電子ブックのススメ(1) 「理科年表プレミアム」の魅力

●「理科年表」とは何か？

「仙台市の年間の降雪日数は何日か？」と問われたとき、皆さんは何を調べますか。検索エンジンでウェブサイトを探す方法もありますが、大学生としては信頼性の高い情報源を利用する手段を知っておきたいところです。そんな時に有用なのが「理科年表」なのです。

「理科年表」とは、暦、天文、気象、物理、化学、地学、生物、環境という分野を網羅する、日本を代表する科学データブックです。創刊は1925年(大正14)で国立天文台が編纂し、毎年新版を刊行しています。



冊子体「理科年表」

●「理科年表」をどのように使うか？

何よりもまず、大学の学習での参考資料として利用しましょう。例えば、物理・化学ではエネルギー換算表や弾性に関する定数表、モル熱容量や無機物質・有機物質の化学式、おもな有機化学反応、有機溶媒の性質、生体物質の化学構造式など多種多様なデータを調べることができます。地学では元素の存在比、日本付近のおもな被害地震年代表など、生物では代謝・生合成系の化学構造式などが有用でしょう。

そして普段の生活で疑問に思ったり、興味をもったりした事柄について調べることができるのも魅力です。日本の各地の日出入、降雪の初日・終日の平均値と最早・最晩、近時の日食・月食などの天文・気象データ、日本のおもな都市の面積・人口、都道府県庁間の距離などの地理情報、日本人の年次別・年齢別人口などの統計情報、サクラの開花日や黄砂などの環境に関するデータ、ノーベル賞受賞者一覧など、さまざまな情報を確認できるのです。ともかく一度、このデータブックの膨大な目次をご覧ください。

●「理科年表プレミアム」の魅力

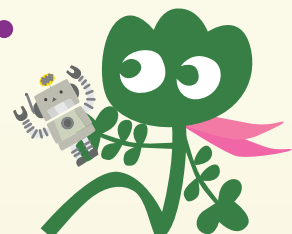
さてこの「理科年表」は、東北大学の各図書館・室で冊子体を揃えています。そしてさらに便利なことに、ウェブ版の「理科年表プレミアム」も利用することができます。ウェブ版は、パソコンから簡単に利用できるというメリットのほかに、目次や索引からだけではなく、本文中の単語からも検索可能なところが大きな魅力です。検索エンジンで探すよりも、確実に信頼のあるデータを使ってみませんか。

※ 図書館ウェブサイトの「データベース・ツールインデックス」→「統計・データ」から利用

●2012年版の特集にも注目！

また2012年版の冊子では、東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)に関連して今までにない特集を組み、地震のメカニズムや放射能に関する諸問題についてのデータを提示しています。エネルギーや環境などの世界の諸問題の提示と解決に、これからの若い世代の方々には、この特集を含めた「理科年表」のデータを活用していただきたいと願っています。

(米澤 誠(本館))





レポート作成のヒント

授業『『レポート力』アップのための情報探索入門』・グループディスカッションの結果から

学生みなさんは、普段どのようにレポートを書いているでしょうか？ 図書館が関わっている授業において、受講生にレポート作成に関するディスカッションを行ったところ、いくつかの悩みや不安が挙げられました。その結果を踏まえ、以下にレポート作成の手助けになるヒントを、図書館の公式キャラクター🐹「はぎのすけ」がご紹介します。

1 きちんとしたレポートの書き方を知りたい、良いレポートとはどのようなものか知りたい



① 授業・サポートデスク・留学生コンシェルジュなどを活用しよう！

○ 授業：『『レポート力』アップのための情報探索入門』（2セメ・木5）

講義と実習を通じて、レポートの作成法とそれに欠かせない文献・情報調査法の基礎を学ぶ授業です。授業に出られない場合は、以下のサイトに昨年度の授業内容が詳しく載っており、ダウンロードもできますので、こちらをご覧ください。



東北大学生のための情報探索の基礎知識シリーズ

http://tul.library.tohoku.ac.jp/modules/supp/index.php?cat_id=3

○ サポートデスク（火・水：16:00～18:00、木12:00～14:00）

1月23日（木）まで、上記授業のTAが図書館本館1Fの「サポートデスク」でレポートの書き方の相談を受け付けています。授業を受けていない学生みなさんも気軽にご相談ください。



▶サポートデスクの様子

○ 留学生コンシェルジュ（平日13:00～17:00）

サポートデスクのとなりで、多言語による図書館の利用相談等を行っています。コンシェルジュは本学の大学院生でもありレポート作成の先輩ですので、留学生はもちろん、日本人学生のみなさんもお気軽にご相談ください。



② レポート作成について書かれた本を読んでみよう！

図書館には、以下のようなレポート作成に関する本が揃えてあります。また、これらの本の周辺には、同じような内容の本が並んでいますので、自分に合ったものを探してみてください。

- 酒井聡樹. これからレポート・卒論を書く若者のために. 共立出版, 2007, 225p.
- 高崎みどり. 大学生のための「論文」執筆の手引. 秀和システム, 2010, 287p.
- 木下是雄. レポートの組み立て方. 筑摩書房, 1990, 234p., (ちくまライブラリー, 36).
- 本多勝一. 日本語の作文技術. 新装版, 講談社, 2005, 287p.

また、手元に置いておきたい場合は、購入も考えてみましょう。

これらの本が
どこにあるかは
OPACで
確認してみよう



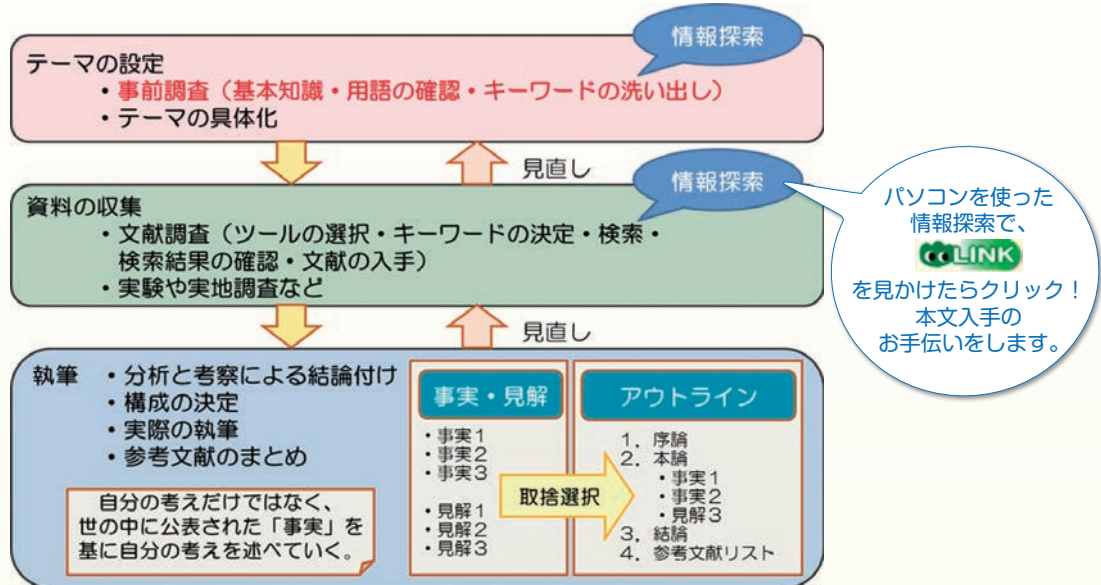
③ 学内での各種サポートを利用しよう！

学内には、学生の皆さんの学びについての様々なサポートがあります。M棟1階のSLAプラザで活動しているSLA（スチューデント・ラーニング・アドバイザー）なども積極的に活用しましょう。

② レポートを書く手順がよくわかりません …



レポートの主な作成手順は以下の通りです。いきなり執筆はせず、テーマを吟味し、資料を読み込んで十分に考察しましょう。良いレポートを作成するためには、テーマ設定やその回答の根拠となる資料の収集の際に、丁寧な情報探索を行うことが重要です。



なお、この手順は、一方通行ではありません。随時試行錯誤を繰り返し、各段階を行き来することで、レポートの質を高めることができます。

③ 引用文献・参考文献リストはどのように書いたらよいでしょうか？



レポートや論文を書く際には、必ずその根拠となった文献や参考にした文献を記載し、読み手がそれらの文献にたどり着くのに十分な情報を提供する必要があります。

その記述内容は、文献の種類(図書・論文・新聞記事・ウェブサイトなど)によっても異なり、また、記述形式が指定されている場合はそれに従うことになりますが、特になければ、以下の書き方などを参考にしてください。同時に、引用文献・参考文献の役割もきちんと理解しておきましょう。

- **SIST02 (参照文献の書き方)** http://sti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02_2007/main.htm
- **参考文献の役割と書き方** http://sti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST_booklet2011.pdf



レポートを書き上げたら「レポート作成 チェックリスト」で確認しましょう！

①で紹介したサイト内にある「『レポート力』アップのための情報探索入門2013」の「第6章よりよいレポートを目指してー引用と提出前のチェックポイントー」から、レポート提出をする前にチェックしておくべきポイントを確認する「チェックリスト」をダウンロードできます。最後の仕上げとして、提出前にはこのチェックリストも活用しましょう。

ここに紹介した内容は、レポート作成法のほんの一部です。さらに詳しい具体的な内容は、①で紹介した「東北大学生のための情報探索の基礎知識シリーズ」のサイトに掲載されていますので、ぜひダウンロードしてご利用ください。

in LONDON

ロンドン大学図書館展示会 *Natsume Sōseki, the Greatest Novelist in Modern Japan* (『近代日本の文豪・夏目漱石』) 展の開催について

2013年11月21日から12月18日まで、イギリスのロンドン大学 (University College London, UCL) 中央図書館で、東北大学附属図書館とUCL Library Services とのコラボレーションにもとづく展示会 *Natsume Sōseki, the Greatest Novelist in Modern Japan* (『近代日本の文豪・夏目漱石』) を開催いたしました。この展示会は、日英学術交流150周年、および、東北大学とUCLとの大学間学術交流協定の締結を記念して、企画・実施されたものです。

夏目金之助(漱石)は、英語研究と調査とを目的に、1900年9月から1902年12月までの約2年間、第1回国費留学生としてイギリスに派遣されました。漱石がまだ熊本第五高等学校の教師として在職中だった33歳のことです。漱石は、留学中の一時期、UCLの英文学教授ウィリアム・ケア (William Paton Ker) の講義を聴講するなど、漱石とUCL とを結ぶ縁は決して浅くはありません。

今回の展示会では、漱石が留学中に購入した約500冊の図書をも含む漱石文庫の資料群から、漱石がイギリス滞在中に記した2冊の日記をはじめ、漱石が参照した当時のロンドン・シティのガイドブック、漱石の英文学研究の構想メモや、留学中に創作した幻想的な英詩、さらには、日本で漱石を待つ妻・鏡子に宛てた書簡など、漱石とイギリスとを繋ぐ資料約20点を展示いたしました。留学中の漱石の想いや思考を伝える資料が、100年以上の時を隔てて再びイギリスを訪れるとともに、漱石文庫の資料が海外で公開されるのは初めての展示会となりました。

東北大学の学術交流の一環として、漱石と縁の深い UCL の大学図書館との密接な協働によって今回の展示会を実現・達成できたことは、本学附属図書館にとって極めて有意義な、貴重な機会となったといえます。

この展示会の模様は、UCL 図書館のウェブサイト (UCL Library Services Exhibitions: <http://www.ucl.ac.uk/library/exhibitions/>) で公開されています。

(横山美佳(本館)、福井ひとみ(本館)、木戸浦豊和(金研))



▶UCL中央図書館の展示会場の模様



▶漱石がイギリス留学中に記した2冊の日記(左・「滞英日記」、右・「渡航日記」)



▶展示会場での記念写真(左・6人目より、林景一英国特命全権大使、里見進総長、植木俊哉理事・附属図書館長)



in RUSSIA

～日露大学合同説明会・日露学長会議

東北大学がロシアの大学との共催で開催した日露大学合同説明会及び日露学長会議のお手伝いで2013年10月6日(日)～12日(土)ロシアに出張しました。

日露大学合同説明会が開かれたノボシビルスク大学は、シベリア地区の学園都市にあり、多くの学生が寮で生活し少人数教育が特徴です。説明会には200人以上の学生が訪れて、日本の大学や留学制度の説明を受けていました。やはり日本の文化、特にアニメやマンガなどのポップカルチャーから興味をもつ学生が多いようでした。

説明会の合間には昨年度から検討している日本語図書の寄贈についてご相談するとともに、いくつかの図書室の見学をさせていただくこともできました。図書室は学科ごとに開設されており、閉架式で本はカウンターで係員に出してもらいます。閲覧室では学生が本やノートを手元に勉強しており、ストイックな印象を受けました。学科に属さない「読み物の図書室」のみが開架式で、日本の小説のロシア語訳もあり、特に村上春樹が人気とのことでした。

日露学長会議が開かれたモスクワ国立大学は、巨大な建物が印象的なロシア最大の大学です。図書館の見学はかないませんでした。が、図書館と同じ建物にある荘厳な会議室が会場となっており、雰囲気を感じることができました。会議では留学生の増加や研究協力など、日露の大学間交流の推進が話われました。

この出張で国際交流の現場に立ち会わせていただき、日本に興味を持って来てくれる留学生のために、また東北大学のさらなる国際化に、図書館としてもよりお役に立つよう考えていきたいと思いました。

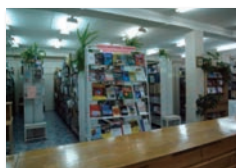
(関戸麻衣(本館))



▶日露大学合同説明会 東北大学ブース



▶ノボシビルスク大学 日本語学科の図書室



▶ノボシビルスク大学 学科の図書室カウンター



▶モスクワ大学図書館



▶モスクワ大学図書館での日露学長会議

SERIES

「ゆかりの人々」～ 医学系研究科発生発達神経科学分野 大隅典子 教授

シリーズ「ゆかりの人々」は、「東北大学ゆかりコレクション」にちなみ、本学の卒業生、教職員など、東北大学にゆかりのある方々とその著書について、ご本人に様々なエピソードを含めて、ご紹介いただくコーナーです。シリーズ7回目は、本学医学系研究科の大隅典子教授です。教授にピックアップしていただいた著書や翻訳書をご紹介します。



小さい頃から本が好きです。お世話になった先生が「積み上げると自分の背丈になるくらいの冊数の本を書きたい」と仰っておられたのが心に残っており、「研究者＝論文を書く人、学者＝本を書く人」と刷り込まれているのですが、なかなかそのペースにはなりませんね……。単著1冊と訳書2冊を取り上げたいと思います。



『バイオ研究で絶対役立つプレゼンテーションの基本』

羊土社、2004年刊

学生さんのプレゼンの指導をしている間に気付いたことを『実験医学』という生命科学研究者（の卵）向けの雑誌に連載したものをまとめた本書は、おかげ様でいまだにベストセラーとなっています。コンセプトは（＜伝える＞ではなく）「伝わるプレゼンテーション」と「ビジュアル系」です。聴衆の立場に立ったプレゼンをすること、ロジックをいかに視覚的に示すか、ということの基本にしていますので、必ずしもバイオ系でなくても明日からすぐに役立つノウハウが詰まっています。（注：煽ったタイトルは出版社の意向です……：）

（医学分館 RA21/102）



『心を生みだす遺伝子』

/ ゲアリー・マーカス [著]；大隅典子訳
（岩波現代文庫） 岩波書店、2010年刊

2005年に岩波書店から上梓した同名の書籍が、2010年に文庫版となりました（しかも、単行本のときには書籍に含めることができなかった注釈も文庫では巻末に収めて頂いてお徳感満載）。原著者であるニューヨーク大学のゲアリー・マーカスは、「遺伝子≠写真」であるとして遺伝子を柔軟性のある「レシピ」と捉えるという考え方を打ち出しています。多数の遺伝子たちの働きがコンパクトにまとめられているのは、原著者の専門が分子寄りではなく、発達心理学の立場にいたことが活かされていると言えるでしょう。

（本館学関新書岩波現代文庫 US1/0230/G234）



『なぜ理系に進む女性は少ないのか？ トップ研究者による15の論争』

/ S・J・セシ, W・M・ウィリアムス編；
大隅典子訳, 西村書店、2013年刊

原著が出版されたのは、元ハーバード大学のローレンス・サマーズがなぜ女性がトップレベルの理数系に少ないかと論じて失脚した翌年でした。東北大学に日本で初めて女性が理学部に入学してちょうど100年目の今年、この本を世に送り出すことができ何よりと思っています。私自身は生物学者ですので、男女に生物学的な違いがあることは折込済みですが、理系が得意で好きな女性であっても、理系に進むのを諦める方がなぜ多いのかについては、様々な社会的影響があります。とくに教育に携わる方々には「無意識のバイアス」に気づいて頂くことが、ジェンダーに囚われない社会へ向けて大切なことだと思います。（本館学関 M53/0142）

SERIES

〈つながり〉の一冊 『知がめぐり、人がつながる場のデザイン：働く大人が学び続ける“ラーニングバー”というしくみ』



新しい“学び”について話してみませんか？（教育学研究科教育設計評価専攻博士後期課程2年 新川 壮光）

シリーズ〈つながり〉の一冊は、学生の皆さんに、感銘を受けた本や、他の学生さんにお薦めしたい本、ご自身の研究上影響を受けた本などを紹介しながら、つながっていくリレーエッセイです。



「学び」とか「学習」とか聞いて、皆さんはどんなものを想像されますか？ 恐らく今も受けている授業の風景を思い浮かべる方も多いと思いますが、教室という決まった場所において教師が生徒に知識を伝授するという形に限らない様々な学びの存在が、今注目され始めているのです。

今回紹介する本は「ラーニングバー」という新しい学びの場を提案されている中原淳さんが、その実際の活動の様子に始まり、活動を始めたきっかけ、活動への準備や当日の動きに込められたコンセプト、参加者のその後のアクション、対談を通したラーニングバーの今後に至るまで、具体的な動きとそれをプロデュースする中原さんの狙いと試行錯誤について、非常に読みやすい形で書かれたものです。

「ラーニングバー」がどういうものなのかについては是非中身を実際に読んでいただきたいのですが、私が今回この本を紹介させていただいたのは、活動自体への興味深さ以上に、著者である中原さんの読者に対して、「ラーニングバー」を超える、対話による新しい学びの場を創造し続ける「ラーニング・プロデューサー」になって欲しい、というメッセージに共感したからです。「ラーニングバー」は「大人のための学びの場」として作られたものですが、皆さんが属する学校・家族・職場・地域などそれぞれの場においても、その場に属する人達と対話を重ねることで、それぞれの場に合った独自の学びのあり方を構築することができるのではないのでしょうか？ この本では具体的なエピソードと共に、新しい学びを作り上げる中で重要な、カリキュラムデザインやその成果を明らかにして改善に繋げるアセスメント、活動をつないでいくメディアーションのあり方について、魅力的なコンセプトが数多く紹介されています。それらも参考にしながら、様々な立場の人達と共に自分達が、そして次の世代に求められる新しい学びの内容・形について話をしてもらえたら嬉しいですね。

REPORT

SSH (SUPER SCIENCE HIGH SCHOOL) 鶴岡南高校にて出張講習会！

平成25年9月10日(火)、山形県立鶴岡南高等学校からの依頼により、東北大学附属図書館員が、高大連携の一環として情報探索法に関する出張講習を行いました。同校は、昨年度から5年間、文部科学省の「スーパーサイエンスハイスクール (SSH)」の指定を受けて、高校生の探求活動の取組みに力を入れており、学術機関や企業と連携し、世界に通用する人材育成を目指しています。今回は昨年に引き続き2度目の依頼でした。

内容は、東北大学の1年生向けに実施している講習会を高校生用にアレンジしたのですが、高校生にとって身近な公共図書館や、フリーのデータベースなどの紹介をしながら、辞書・辞典を使った事前調査の方法に重点を置いた説明を行いました。

最後に行った理解度チェックテストでは多くの生徒が正解しており、講習の基本的なことが理解されていることが確認できました。また、生徒や先生からも「辞書・事典の重要性を再認識した」との声が寄せられました。図書館では、今後も引き続き、このような高校生が自ら学ぶ意欲を高めるための取り組みに参画していきたいと考えています。



▶ 配付資料の内容をスクリーンに投影して説明



▶ 約200名の生徒と、教員が参加

ビブリオバトル首都決戦2013 宮城・福島地区予選会 in 東北大学

平成25年10月19日(土)に川内北キャンパスのブッシュクローバーカフェにて「ビブリオバトル首都決戦2013 宮城・福島地区予選会 in 東北大学」が行われ、本学の図書館職員も運営に参加しました。ビブリオバトルはバトルー(書評者)がお薦めの本を持ち寄り、本の魅力を5分間で紹介し、質疑応答を経た後、観客とバトルーがどの本を読みたくなったかを投票して、チャンプ本を決める知的書評合戦です。東北大・宮教大の学生6名がバトルーとして参加し、本に対する思いの丈を語りました。チャンプ本に輝いたのは、東北大学文学部4年の星野咲希さんが紹介した「家守綺譚」(梨木香歩著)です。

バトルーと紹介された図書

バトルー	所属大学	書名	著者名
水金朋己	東北大学	読むクスリ	上前淳一郎
渡邊 成	宮城教育大学	自分の中に毒を持って	岡本太郎
星野咲希	東北大学	家守綺譚	梨木香歩
青木春隆	東北大学	せいめいのはなし	福岡伸一
大槻桃子	宮城教育大学	スキップ	北村 薫
岡田 駿	宮城教育大学	スターティング・オーバー	三秋 絶



▶ 東北大学予選のバトルーのみなさん

東北大学予選を勝ち抜いた星野さんは、続く「宮城・福島ブロック地区決戦」でもチャンプ本(渡辺淳一著「キッス キッス キッス」)を獲得し、みごと「ビブリオバトル首都決戦」への出場を果たしました。

Editor's notes

今年は我が東北楽天ゴールデンイーグルスが、悲願のバリーグ初優勝、そして日本一。因みにホームゲームの勝敗は42勝28敗2分け(公式戦)と断然の強さ。その要因は？ どのスタジアムより多い観客の応援、使い慣れたグラウンドなどの環境が影響しているのでしょうか？ 学習には勝敗という考え方は、馴染みませんが、学生の皆さんの自らの学習を応援し、実力を発揮できる環境「ホーム」となるべき図書館を目指し、職員一同頑張ります。次号は、「卒業特集号」です。乞うご期待。(木這子編集委員 清野 英之)

